

授 業 概 要

科目名	導入教育	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	1	単位	総時間数	30	時間
【授業を通じての到達目標】											
キャリアデザイン科で学び就職するための「身構え・気構え・心構え」を身に着けることができる 1年間一緒に過ごすクラスメイトと協力して学ぶことができるように相手を知ることができる											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、学校の規則を知り円滑に学校生活を送れるように授業を行う。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						自分自身を知るために、手帳を使って日々を振り返ることを行う					
授業計画											
・導入研修	<p>クラスのメンバーに自分のことを知ってもらい、他のメンバーのことを知る。その中で一緒に協力してできるように、アイスブレイクやグループワークを通じて相互援助体制を構築する</p> <p>1年間の目標を立て、目標に向かってそれを達成するために具体的な目標をたてる</p> <p>就職活動について、基本的な活動の仕方についてオリエンテーションを行う</p> <p>オンライン授業をするにあたって、オンライン授業の仕方や、SNSの使い方、情報リテラシーを学び、正しくSNSを利用できるようにする</p> <p>自己分析を行い、自分自身を知る。そして今後の学生生活や、就職活動や進路活動など将来の進路選択が出来るように準備の仕方を知ることができる</p>										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
自分のことだけでなく、クラスで協力することを考える。自分で、出来ないと思うだけでなく、出来る方法を考えたり、人に依頼が出来るように考える。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。 自分の学んだことをレポート試験で行う					

授 業 概 要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (前期)	担当 教員	久保田 千尋		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	8 単位	総時間数	120 時間
【授業を通じての到達目標】									
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体現できるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1 2	【授業単元】 1年間の計画を立てる①				17 18	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返り			
	【到達目標】 自分の目標を立てることができる 1年間のスケジュールを知り、自分自身の目標を立てることができる					【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りをする できていたことできなかったことを整理し、就職活動が出来る準備をする			
3 4	【授業単元】 オンライン授業をするにあたってルールを作成・考える①				19 20	【授業単元】 インターシップ(体験)に向けての準備			
	【到達目標】 オンライン授業をしてみて、感じていることや気になっていることを出す 学校に行きながら受ける授業とオンラインの授業の違いを出す それぞれのいいところ、難しいと感じるところを比較してみる					【到達目標】 実際に自分のいく場所を調べる 何を学びたいか、目標を立てることができる			
5 6	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える①				21 22	【授業単元】 インターシップ(体験)振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする					【到達目標】 実際にインターシップを体験し、気づいたことなどをまとめる 自分が立てた目標に対してどうだったか振り返りまとめることができる			
7 8	【授業単元】 これからの仕事の仕方や様々なコミュニケーションの方法について考える②				23 24	【授業単元】 4ヶ月経っての振り返り			
	【到達目標】 今の自分が人とコミュニケーションをとるツールについて考える 対面の仕事とオンラインを活用しての仕事の仕方について調べる グループワークをし、共有をする					【到達目標】 4ヶ月入学してからの4ヶ月を振り返り、立てた目標が予定通りに進んでいるか確認する 出来ていること、出来ていないことを整理し、今後の目標を立てることが出来る			
9 10	【授業単元】 入学してからの2か月を振り返り				25 26	【授業単元】 将来働くということについて考える			
	【到達目標】 入学してからの2か月を振り返り、目標に対して自分の行動がどうだったか知る できていることできていないことを整理し、これからの目標を立てる					【到達目標】 自分にとって働くとはどのようなことか考える クラスや授業でおこなったことが将来働くことにつながるのか考えることができる クラスで共有し、よいところは取り入れ、視野を広げることで自分の進路を決める参考になる ことができる			
11 12	【授業単元】 夢を実現するための3つの行動原則				27 28	【授業単元】 良い習慣について考える			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理し、優先順位を決めて出来ることからおこなうことができるようにする					【到達目標】 良い習慣について考え自分の行動を振り返り、今後就職していくうえでのストレスについて考える 自分の感じているストレスを知り、対処方法や発散方法を探することができる			
13 14	【授業単元】 インターシップに向けての準備				29 30	【授業単元】 前期の振り返りと定期試験			
	【到達目標】 導入研修の時に考えた夢を実現するための3つの行動原則ができているか振り返る 意識してできているか、できていないか整理する クラスで発表し、他者の意見を聞き参考にし、いいところや自分で出来るところは取り入れることができる					【到達目標】 前期の振り返りをまとめ、発表することができる 授業内定期試験			
15 16	【授業単元】 インターシップと模擬面接会の振り返りと中テスト				【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 インターシップと模擬面接会の振り返りをする できていたことできなかったことを整理し、就職活動につなげる								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する									

授業概要

科目名	キャリアデザイン講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年 (後期)	担当 教員	久保田 千尋		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	8 単位	総時間数	120 時間
【授業を通じての到達目標】									
人間関係形成力・社会形成能力・課題対応能力を養い、体現できるようになる。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、自分のことを理解するとともに、人との関わり方や、将来生活するための考え方などを知るための授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
フォーサイト手帳					フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することができる				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 後期の目標を立てる				17	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1			
2	【到達目標】 前期を振り返り、できたことできなかったことを整理し、後半の目標をたてる クラスで発表することで、人のいいところを取り入れる				18	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。			
3	【授業単元】 防災について考える①				19	【授業単元】 1年間と学習してきた、自分の強みを考える			
4	【到達目標】 防災とはについて知る 学校にいるときに災害が起きたら、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				20	【到達目標】 今までの学校生活で、出来たことをまとめる 個人でいいところや、クラスでいいところを出し合う			
5	【授業単元】 防災について考える②				21	【授業単元】 自分たちがやってきたことを他者に伝えるにはどんな手法があるか考える			
6	【到達目標】 防災とはについて知る 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				22	【到達目標】 卒業するにあたり、自分たちが成長してきた過程を自分だけでなく、他者に伝えるためにどうすればいいか、クラスで話し合うことができる 具体的に伝える手段としてどんなことがあるか調べ見つけることができる			
7	【授業単元】 防災について考える③				23	【授業単元】 自分の個性を出しながら、クラスでの団結力を見せる方法を考える			
8	【到達目標】 防災とはについて知る 学校にいるときに災害が起きたら、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				24	【到達目標】 自分たちの成長してきた過程を他者に伝える方法について具体的に話し合うことができる 自分の強みを活かし、クラスの強みをみんなで相談しまとめることができる			
9	【授業単元】 防災について考える④				25	【授業単元】 成果発表会準備			
10	【到達目標】 防災とはについて知る 自分の住んでいる地域のハザードマップを調べ、避難場所などを知る 災害時に必要なことを知る				26	【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことが出来る 役割や準備の方法なども考えることができる			
11	【授業単元】 将来生活するために必要なお金について考える				27	【授業単元】 成果発表会準備			
12	【到達目標】 働いて稼げるお金や税金、お金の使い方について考えることができる 自分の理想について考え、その生活をするためにいくらお金が必要か考えてみる事ができる				28	【到達目標】 成果発表会で何を行うか考えることができる 自分たちのできたことや強みを活かしながら項目を決めていくことが出来る 役割や準備の方法なども考えることができる			
13	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1				29	【授業単元】 振り返り、授業内定期試験			
14	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える				30	【到達目標】 1年間の振り返りをしそれをまとめ、発表するすることができる 授業内定期試験			
15	【授業単元】 現場総合学習などクラスでの行事をおこないチームで協力して行動することの大切さを振り返る②-1 中テスト				【成績評価の方法と基準】 講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 ・試験は筆記試験で行う。 ・毎回の小テストは各回2コマで5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
16	【到達目標】 他者との関わりの中で見えてきた自分の癖や考え方について振り返り、自分の良いところを知ることができる また、改善した方がいいところがあればそれはどこかを知り、変化する方法を考える クラスで共有し、他者からみた自分を知る。中テスト								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
学校生活や就職にむけて自分らしく生活が出来るように、計画を立て実行する									

授 業 概 要

科目名	SNS講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	赤間 亮一 株式会社 プレレンスタッフコンサルタンツ
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位 総時間数 60 時間
【授業を通じての到達目標】							
ICTを正しく使いこなす社会人になるため、SNSをはじめとする様々なICT系サービスを支えるテクノロジーの概要を理解する。また、それらを利用する上での配慮すべき点を再確認する。 Wordを利用し、複合文書を作成できる							
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)							
ICTは我々の日常生活において必要不可欠な要素となった。本授業では講義と演習を交互に実施し、大学院でのSNS研究や大学LMSの管理者経験がある教員が、ICTの知識と実践をバランス良く習得することを目的とした授業を行う。8回目以降は、産学連携グループの企業である(株)プレレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用							
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】			
講義や演習に必要な資料や関連サイトは授業ごとに提示する オリジナルのe-learningテキスト				皆さんが普段から利用しているスマートフォンが今やICTデバイスの代名詞です。利用する際は授業内容を頭の片隅においてください。 e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する			
コマ	授業計画			コマ	授業計画		
1	【授業単元】 インターネットとSNS			9	【授業単元】 Word基礎1 基本操作		
	【到達目標】 インターネットとSNSの歴史を知る。 著作権や情報論理についての知識を確認する。				【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる		
2	【授業単元】 ICTソリューション①			10	【授業単元】 Word基礎2 画像や図形		
	【到達目標】 Microsoftやgoogleなどが提供するアプリケーションを利用した共同作業を体験する。 共同作業で作成したプロダクトを提出する。				【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる		
3	【授業単元】 コンピュータネットワークとクラウド			11	【授業単元】 Word基礎2 画像や図形		
	【到達目標】 コンピュータネットワークの構造を知る。 ローカルと比較したクラウドの利点を述べる。				【到達目標】 画像や図形を駆使した文書を作成できる		
4	【授業単元】 ICTソリューション②			12	【授業単元】 Word基礎3 表の作成		
	【到達目標】 Microsoftやgoogleなどが提供するアプリケーションを利用した共同作業を体験する。 共同作業で作成したプロダクトを提出する。				【到達目標】 表を駆使した文書を作成できる		
5	【授業単元】 ビッグデータ			13	【授業単元】 Word基礎3 表の作成		
	【到達目標】 ビッグデータがどのように収集されているのかを知る。 ビッグデータの活用事例を列記する。				【到達目標】 表を駆使した文書を作成できる		
6	【授業単元】 ICTソリューション③			14	【授業単元】 Word日商検定対策1		
	【到達目標】 Microsoftやgoogleなどが提供するアプリケーションを利用した共同作業を体験する。 共同作業で作成したプロダクトを提出する。				【到達目標】 Word講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる		
7	【授業単元】 AI 定期試験			15	【授業単元】 Word日商検定対策2		
	【到達目標】 人工知能の歴史を知る。 ディープラーニングの活用事例を列記する。 定期試験を実施する。				【到達目標】 Word講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる		
8	【授業単元】 Word基礎1 基本操作			【成績評価の方法と基準】			
	【到達目標】 文書作成ソフトを使って、効率的にビジネス文書を作ることができる ※初回講義は全員登校して下さい			1回目～4回目までの小テストが5点、5、6回目が10点で1回目～6回目までの小テストの合計が40点とする。7回目の定期試験は60点とし、1回目～6回目までの小テストと7回目の定期試験の合計を①100点とする。 8回目～13回目までの小テストが5点、14回目が10点で8～14回目までの小テストの合計が40点とする。15回目に定期試験60点とし、8回目～14回目までの小テストと15回目の定期試験の合計を②100点とする。 ①と②を足して÷2した点数をA-Fの6段階で評価する			
【履修に当たっての心構え・留意点】							
ICTには様々な可能性があります。普段、使用しているデバイスの機能はそのほんの一部のほうです。もっと多くの機能に興味を持ちましょう。 PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください							

授 業 概 要

科目名	SNS講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	株式会社 ブレーンスタッフコンサルタンツ 赤間 亮一		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
Excelを利用し、表計算や表、グラフを作成できる。 IGTを正しく使いこなす社会人になるため、SNSをはじめとする様々なICT系サービスを支えるテクノロジーの概要を理解する。また、それらを利用する上での配慮すべき点を再確認する。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
滋慶学園グループの企業である(株)ブレーンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、卒業研究や就職後に必須となる。パソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。9回目以降は、ICTは我々の日常生活において必要不可欠な要素となった。本授業では講義と演習を交互に実施し、大学院でのSNS研究や大学LMSの管理者経験がある教員が、ICTの知識と実技をバランス良く習得することを目的とした授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
オリジナルのe-learningテキスト 講義や演習に必要な資料や関連サイトは授業ごとに提示します。					e-learningテキストで操作手順を確認し、PC操作を実践する。 皆さんが普段から利用しているスマートフォンが今やICTデバイスの代名詞です。利用する際は授業内容を頭の片隅においてください。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 Excel基礎1 基本操作				9	【授業単元】 アナログとデジタル			
	【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる					【到達目標】 画像や音声为例にアナログとデジタルの違いを述べる。			
2	【授業単元】 Excel基礎1 基本操作				10	【授業単元】 ビデオ編集①			
	【到達目標】 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる					【到達目標】 スマートフォンを利用した映像作品を作成する。 映像データの編集を実施する。			
3	【授業単元】 Excel基礎2 数式と関数基礎				11	【授業単元】 CAD/CAM			
	【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる					【到達目標】 コンピュータ支援による造形技術の現状を知る。 3Dスキャナーと3Dプリンターの活用例を列記する。			
4	【授業単元】 Excel基礎2 数式と関数基礎				12	【授業単元】 ビデオ編集②			
	【到達目標】 関数を駆使した資料を作成できる					【到達目標】 スマートフォンを利用した映像作品を作成する。 映像データの編集を実施する。			
5	【授業単元】 Excel基礎3 グラフ基礎				13	【授業単元】 XR(VR・AR・MR)とプロジェクションマッピング			
	【到達目標】 グラフを駆使した資料を作成できる					【到達目標】 最新の映像技術について知識を深める。 映像技術の可能性について述べる。			
6	【授業単元】 Excel基礎3 グラフ基礎				14	【授業単元】 ビデオ編集③			
	【到達目標】 グラフを駆使した資料を作成できる					【到達目標】 スマートフォンを利用した映像作品を作成する。 映像データの編集を実施する。 映像作品を提出する。			
7	【授業単元】 Excel日商検定対策1				15	【授業単元】 未来のICT 定期試験			
	【到達目標】 Excel講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる					【到達目標】 ICTの未来について考察する。 ICTがもたらす近未来の社会像について意見を述べる。 定期試験を実施する。			
8	【授業単元】 Excel日商検定対策2				【成績評価の方法と基準】				
	【到達目標】 Excel講座で学習した操作を繰り返し練習して、設問指示に従った操作を実践できる				1回目～6回目までの小テストが5点、7回目が10点で1～7回目までの小テストの合計が40点とする。8回目に定期試験60点とし、1回目～7回目までの小テストと8回目の定期試験の合計を①100点とする。 9回目～12回目までの小テストが5点、13、14回目が10点で9回目～14回目までの小テストの合計が40点とする。15回目の定期試験は60点とし、9回目～14回目までの小テストと15回目の定期試験の合計を②100点とする。 ①と②を足して÷2した点数をA-Fの6段階で評価する				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
PC操作は日々繰り返すことでタイピング速度が上がり、効率的な資料作成やデータ処理が可能になります。できるだけ日常に取り入れて活用してください。ICTには様々な可能性があります。普段、使用しているデバイスの機能はそのほんの一部のはずです。もっと多くの機能に興味を持ちましょう。									

授業概要

科目名	好き発見講座	必修選択の別	必修	開講区分	通年(前期)	担当教員	木ノ下ゆん、百木ゆう子 白井孝子、灰木若、赤間亮一		
学科コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の方法	演習	単位数	2 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
<p>各分野の内容や面白さを体験し、知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を描くことを楽しく学び何か新しいことを見つける。自身の可能性を広げる。 アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通じ、どのように組み合わせると良い香りになるか、また、環境や気分に合わせて香りを調合し完成させる。 ビジュアルプログラミングアプリケーションである「scratch」を通してプログラミングを体験する。プログラミング的思考について理解を深める。 									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
<p>それぞれの分野の専門家によって、その分野の面白さを知る授業を展開。</p> <p>【漫画】見本を真似してマンガやイラストの絵を描いてみます。描いた絵に、色を塗ったりカッターや定規を使って効果を表現したりします。自由に絵を描くことにもチャレンジします。</p> <p>【アロマ】エステティシャン歴28年。東京ベルエポック美容専門学校エステ科非常勤講師(2017～2020)。エステサロン経営(青山・船場)。【出演】ぐるナイ・ヒルナンデス！・じやらんCMなど。美容本4冊・DVD5枚など出版。実際にアロマを嗅いだり混ぜたりして、状況や気分に合わせて香りを作成します。</p> <p>アロマ(かおり)のもつ作用と感じ方の違いを通じ、どのように組み合わせると良い香りになるか、また、環境や気分に合わせて香りを調合し完成させる。</p> <p>【プログラミング】次世代人に求められているのは「プログラミングが出来る」ことではなく「プログラミング的思考力を身につける」ことにある。プログラミング的思考とは論理的かつ効率的な物事への考え方を指している。コードを記述しないビジュアルプログラミングにおいてもその点を意識することを指したい。</p> <p>【介護】介護や看護の仕事経験のある教員が介護について介護の仕事についての理解を深めるような授業を展開。</p>									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
プリント					次の授業で必要なものを調べたり写真を準備したりする。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	<p>【授業単元】</p> <p>【漫画】円(まるい絵)や四角や三角を使ってカワイイ動物を描く。動物を使って「コマ」4コマのマンガを自由に描くまたは、セリフに合わせて絵を入れてみる</p> <p>【到達目標】</p> <p>円、四角、三角などの図形から想像していろいろな動物を描くことができる動物同士の会話の様子を描くことができる</p>				9	<p>【授業単元】</p> <p>【介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症とは何？ ・認知症の人は、どこにいるの。 どんな状態になるの。 ・どう接したらいいの。 <p>【到達目標】</p> <p>認知症について知ることができる</p>			
	<p>【授業単元】</p> <p>【漫画】素体のイラストの絵に、好みの髪型や服装を描く。いろいろなバリエーションを考えてみる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>髪型や服装に興味を持つお気に入りのファッションを絵で表現できるようになる</p>					<p>【授業単元】</p> <p>【介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人が地域で、どのように暮らしているかを知る。 認知症の人が地域でくらすために、できることを知る。 <p>【到達目標】</p> <p>認知症の人とともに地域で暮らすことができる。</p>			
3	<p>【授業単元】</p> <p>【漫画】漫画の原稿にべたを塗ったり、効果線を描いたり、トーンを貼ったりしてマンガっぽく仕上げる。</p> <p>【到達目標】</p> <p>日本の文化、モノクロマンガの表現に興味を持つことができる定規やカッターを上手に使うことができる</p>				11	<p>【授業単元】</p> <p>【介護】車いすの基本的操作とコミュニケーションの基本</p> <p>【到達目標】</p> <p>高齢者の気持ちを想像しながら基本的な車いす操作を学ぶこと</p>			
	<p>【授業単元】</p> <p>【漫画】テーマについて考えてマンガを描くまたは これまでに練習したものを自由に絵を描く</p> <p>【到達目標】</p> <p>自分が興味のあることを絵やマンガで表現できるようになる</p>					<p>【授業単元】</p> <p>【介護】食べるメカニズムの理解と食事介助の基本</p> <p>【到達目標】</p> <p>高齢者の気持ちを想像しながら食事介助の基本を学ぶことができる。</p>			
5	<p>【授業単元】</p> <p>【アロマ】アロマを知ろう！</p> <p>【到達目標】</p> <p>アロマって何だろう？ 香水とは違うの？ 香りの持つパワーを実際に嗅ぎながら感じ取る。</p>				13	<p>【授業単元】</p> <p>ビジュアルプログラミング①</p> <p>【到達目標】</p> <p>①scratchのアカウントを作成する。 ②scratchの基本操作を実行する。</p>			
	<p>【授業単元】</p> <p>【アロマ】自分のお気に入りアロマを作ろう①</p> <p>【到達目標】</p> <p>アロマを混ぜて、気分に合わせて香りを作る。</p>					<p>【授業単元】</p> <p>ビジュアルプログラミング②</p> <p>【到達目標】</p> <p>①プログラムの変更を実施する。 ②オリジナル要素がある作品を作成する。</p>			
7	<p>【授業単元】</p> <p>【アロマ】自分のお気に入りアロマを作ろう②</p> <p>【到達目標】</p> <p>アロマを混ぜて、気分や好みに合わせた香りを作る。</p>				15	<p>【授業単元】</p> <p>ビジュアルプログラミング③</p> <p>【到達目標】</p> <p>①作成した作品をプレゼンテーションする。 ②クラスメイトと作品のピアレビュー(相互評価)を行う。</p>			
	<p>【授業単元】</p> <p>【アロマ】誰かのためにアロマを作ろう！</p> <p>【到達目標】</p> <p>相手の気持ちや好みを想像して、香りのプレゼントを作る。</p>					<p>【成績評価の方法と基準】</p> <p>科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。漫画、アロマ、介護、プログラミングの4つの分野でそれぞれ小テストは20点満点とし、20点×4つの分野=80点を÷2したものと定期試験60点の合計で評価を行う。定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。</p>			
【履修に当たっての心構え・留意点】									
<p>【漫画】うまく描けないということは気にせず、いろいろなものを描くことにチャレンジしましょう</p> <p>【アロマ】香りは好みがありますので、合わない場合は担当教員に申し出てください。アロマオイルは直接触らないよう注意してください。</p> <p>【プログラム】ビジュアルプログラミングはプログラミング言語を使用しないため、それらを意識することなく取り組むことができます。PCが苦手な方にも馴染みやすい内容です。</p>									

授 業 概 要

科目名	好き発見講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	高岸裕一、代田望都、百瀬留美、中島由里子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	2 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
各分野の内容や面白さを体験し、知る。 【美容】美容について知ることメイクアップ、コスプレなどを学び、身だしなみを整えることを身につける。									
【学習内容】 (どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
各分野において、さまざまな経験のある教員が、各分野の基礎知識や面白さを伝える授業。 【美容】世界コスプレ技術検定協会の理事、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。美容について身だしなみに必要なコスメ・メイクアップ・ヘアスタイリング・パーソナルカラー など を学ぶ 【バイオ】科学の楽しさ・おもしろさをする授業を展開 【動物】動物に関わったことがある教員が動物の生態や育て方について学ぶ授業を展開 【歯科】歯科衛生士の資格がある職員が歯の健康について考える授業を展開									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
【美容】世界コスプレ技術検定協会公式デジタルテキスト【魔法書】					次の授業で必要なものを準備する				
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 【歯科】 (歯科技工) 歯科材料を使ってスマホリングをつくる 【到達目標】 スマホリングをつくることのできる デコレーションペンをつくることのできる			9	【授業単元】 【バイオ】 商品開発に挑戦 ②香水を開発しよう 【到達目標】 香りの原料である香料を組み合わせて、オリジナルの香水を完成させる。 開発実験を通して、調香師の仕事を知る。				
2	【授業単元】 【歯科】 (歯科技工) 本物そっくりの白い歯をつくる 【到達目標】 本物そっくりの白い歯をつくることのできる			10	【授業単元】 【バイオ】 科学捜査 (血痕検査) に挑戦しよう 【到達目標】 試薬の安全な取り扱いを身に付ける。 ルミノール反応を通して、検査・実験をする仕事を知る。				
3	【授業単元】 【美容】 導入、美容、ヘアメイクの仕事を紹介、 道具の使い方、名称、テキスト配布 【到達目標】 美容、ヘアメイク業界の仕事や道具などの名教や使用方法を覚える。			11	【授業単元】 【歯科】 模型の歯で印象採取を実際に体験する 採取した印象を使い石膏模型を作ってみる 【到達目標】 歯科衛生士の業務を知り体験する				
4	【授業単元】 【美容】 導入、美容、ヘアメイクの仕事を紹介、 道具の使い方、名称、テキスト配布 【到達目標】 美容、ヘアメイク業界の仕事や道具などの名教や使用方法を覚える。			12	【授業単元】 【動物】 動物関連の専門学校の校舎見学 【到達目標】 校舎見学を通して、動物のことを知る				
5	【授業単元】 【美容】 2.5次元舞台のメイクアップを学ぶ。 【到達目標】 アニメを舞台化した際のメイクアップ技術を実習する。			13	【授業単元】 【動物】 動物・植物について学ぶ① 【到達目標】 動物の生態について知る 動物の育て方について学ぶ				
6	【授業単元】 【美容】 2.5次元舞台のメイクアップを学ぶ。 【到達目標】 アニメを舞台化した際のメイクアップ技術を実習する。			14	【授業単元】 【動物】 動物・植物について学ぶ② 【到達目標】 動物の生態について知る 動物の育て方について学ぶ				
7	【授業単元】 【バイオ】 実験操作の基本を知ろう! 【到達目標】 実験器具の名前、使い方、実験のルールを身に付ける。 酸化還元反応の実験を通して、色などの状態変化を観察、実験の楽しさ・面白さを感じる。			15	【授業単元】 【歯科】 前週の印象採取と石膏模型の体験を繰り返し行う ユニットの使い方を知り使ってみる 【到達目標】 歯科医院での業務を知り道具を使ってみる				
8	【授業単元】 【バイオ】 商品開発に挑戦 ①人工いくらを開発しよう 【到達目標】 商品である人工いくらの色や大きさ、硬さなどを考え、商品を完成させる。 開発実験を通して、食品開発者の仕事を知る。			【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 歯科、美容、バイオ、動物の4つの分野でそれぞれ小テストは20点満点とし、20点×4つの分野＝80点を÷2したものと定期試験60点の合計で評価を行う。(小テストは4回ものは各回5点、3回のは1、2回目は5点、3回目は10点とする) 定期試験はレポート提出とし、60点満点とする。					
【履修に当たっての心構え・留意点】 うまくできないことは気にせず、いろいろなものにチャレンジしましょう 自分の思ったことを発信し、みんなで考える姿勢で臨みましょう									

授 業 概 要

科目名	認知特性	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	山岸 有里																				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業 形態	講義	総単位数	2 単位	総時間数	30 時間																		
【授業を通じての到達目標】																											
自分の脳の特徴である、認知特性を知る。 自分の長所、短所を認知特性で捉え、チームで協働することを通して長所、短所となる特性を伸ばすことで、日常生活でも活かせるようになる。																											
【学習内容】																											
臨床心理士として、20年カウンセリングを行いながら教員として心理系科目を担当。公認心理師も取得。 認知特性を使った、個の成長研究を行う。高校生以上の若者に、自分の特性を知ることの大切さと、活用の仕方を知ってもらいたいと思っています。特に、「学校教育」という自分の認知特性に合わない教育を受けたことが原因となって自信を失っている人に、授業を通して自信を持ってもらえようと思えます。																											
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】																						
教科書なし。随時資料をTeamsにて共有					特になし																						
コマ	授業計画				コマ	授業計画																					
1	【授業単元】 認知特性検査を実施することで、自分の特徴を知る。長所と短所の把握と、そのしくみについて理解する。				9	【授業単元】 中間テスト(20点)を行い、視覚・聴覚認知の点数を伸ばす。 中間テストの結果を元に、認知特性の長所、短所を基にした自己紹介文作成																					
	【到達目標】 自分の認知特性を知る。 それぞれの特性について知る。(小テスト 5点)					【到達目標】 視覚・聴覚認知特性の点数を上げる。 認知特性の説明と、自己紹介が出来るようになる。																					
2	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(視覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				10	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(言語認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																					
3	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(視覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				11	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(言語認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																					
4	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(視覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				12	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(言語認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																					
5	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(視覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				13	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(言語認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																					
6	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(聴覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				14	【授業単元】 総合力としての認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 全体の認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																					
7	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(聴覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				15	【授業単元】 総合力としての認知特性を伸ばすことが出来たか、筆記試験(60点)を行う。試験結果をもとに、自己を振り返った自己分析の文章を作成、提出																					
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。					【到達目標】 全体の認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。																					
8	【授業単元】 認知特性を伸ばすための、ゲームを行う。(聴覚認知) 協力をしながら行うものや、個人で時間の短縮を目指す。				【成績評価の方法と基準】 定期試験：筆記試験形式で実施 小テスト(20点分に換算)、中間テスト(20点)、定期試験(60点)：プレゼンテーション(発表点)、筆記試験の合計で評価																						
	【到達目標】 認知特性を伸ばす。 点数をUPさせる、または時間を短縮することができる。 *授業中の認知特性を伸ばすゲーム結果を提出することを小テスト(5点)とする。																										
【履修に当たっての心構え・留意点】																											
講義は、受身的な姿勢ではなく自ら学び取る姿勢で臨むこと。 タブレット、PC等を使用するため講義前に十分な充電をしておくこと																											
<table style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr> <td></td> <td>合計点数</td> <td>GP</td> </tr> <tr> <td>A評価</td> <td>100~90点</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>B評価</td> <td>89~80点</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>C評価</td> <td>79~70点</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>D評価</td> <td>69~60点</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>E,F評価</td> <td>59点以下又は出席不良は、</td> <td>不合格</td> </tr> </table>											合計点数	GP	A評価	100~90点	4.0	B評価	89~80点	3.0	C評価	79~70点	2.0	D評価	69~60点	1.0	E,F評価	59点以下又は出席不良は、	不合格
	合計点数	GP																									
A評価	100~90点	4.0																									
B評価	89~80点	3.0																									
C評価	79~70点	2.0																									
D評価	69~60点	1.0																									
E,F評価	59点以下又は出席不良は、	不合格																									

授 業 概 要

科目名	心理学	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	山岸 有里																	
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業 形態	講義	総単位数	2 単位	総時間数	30 時間															
【授業を通じての到達目標】																								
「心理学」の基本的な知識とともに、自分を知り相手を理解するための知識を身に着ける。 さらに、心理検査についても学び一般的な性格のタイプとその特徴、対応方法について知る。																								
【学習内容】																								
公認心理師を取得し、臨床心理士として、20年カウンセリングを行いながら教員として心理系科目を担当。 特に、自分に自信を失っている人たちに、心理学を通して自分のを知ることで、自分を肯定的に受け入れられるようになってもらいたいと考えています。																								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】																			
教科書なし。随時資料をTeamsにて共有					特になし																			
コマ	授業計画				コマ	授業計画																		
1	【授業単元】 心理学とは何かを知る 【到達目標】 ・心の仕組みを知る ・思考、感情のつながりを知る。(小テスト5点)				9	【授業単元】 心理検査 (SPトランプ) について知り、体験する。 分析方法を学ぶ。 【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 (小テスト5点)																		
2	【授業単元】 日常生活をする中で体験、経験している事を心理学理論を使って説明できる 【到達目標】 ・認知心理学 ・色彩心理学 について日常生活を例にとりまとめ、他者に説明することができる。(小テスト5点)				10	【授業単元】 心理検査 (SPトランプ) について知り、体験。① 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。□ 【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 ・検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)																		
3	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。① 【到達目標】 ・心理検査の種類について知る。 ・心理検査の結果から自己を知る (小テスト5点)				11	【授業単元】 心理検査 (SPトランプ) について知り、体験。② 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。□ 【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)																		
4	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。② 【到達目標】 ・他の心理検査を体験し、自己理解を深める (1回目) (小テスト5点)				12	【授業単元】 心理検査 (SPトランプ) について知り、体験。③ 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。□ 【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)																		
5	【授業単元】 他者との違いから自分を知る③ 【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う (2回目) (小テスト5点)				13	【授業単元】 心理検査 (SPトランプ) について知り、体験。④ 結果をもとに、他者に自分を肯定的に紹介する。□ 【到達目標】 ・心理検査結果をもとに、自分や他者を肯定的にとらえられるようになる。 検査結果のレポートを作成できる。(小テスト5点)																		
6	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。④ 【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う (3回目) (小テスト5点)				14	【授業単元】 これまでの結果をもとに、自分とはどういう人で何に気を付ける必要があるのかの自己分析を行い、その結果を資料としてまとめる。 【到達目標】 ・これまでの心理検査結果をもとに、自己PRを行うことができる (発表形式の定期試験とする)																		
7	【授業単元】 心理検査について知り、体験する。⑤ 【到達目標】 ・心理検査、他者評価から自分を知り、自己紹介を他者に行う (4回目) (小テスト5点)				15	【授業単元】 これまでの結果をもとに、自分とはどういう人で何に気を付ける必要があるのかの自己分析を行い、その結果を資料としてまとめる。□ 【到達目標】 ・これまでの心理検査結果をもとに、自己PRを行うことができる (発表形式の定期試験とする)																		
8	【授業単元】 中テストとして、資料作成 (10点) と発表 (10点) で合計20点分の配点とする。 【到達目標】 自己紹介PPを作成し発表。				【成績評価の方法と基準】 定期試験 (60点) : 筆記試験形式で実施 小テスト (20点に換算)、中テスト (20点) の合計100点として評価する <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合計点数</td> <td style="text-align: center;">G P</td> </tr> <tr> <td>A評価</td> <td style="text-align: center;">100~90点</td> <td style="text-align: center;">4.0</td> </tr> <tr> <td>B評価</td> <td style="text-align: center;">89~80点</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> </tr> <tr> <td>C評価</td> <td style="text-align: center;">79~70点</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td>D評価</td> <td style="text-align: center;">69~60点</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> </table>						合計点数	G P	A評価	100~90点	4.0	B評価	89~80点	3.0	C評価	79~70点	2.0	D評価	69~60点	1.0
	合計点数	G P																						
A評価	100~90点	4.0																						
B評価	89~80点	3.0																						
C評価	79~70点	2.0																						
D評価	69~60点	1.0																						
【履修に当たっての心構え・留意点】																								
講義は、受身的な姿勢ではなく自ら学び取る姿勢で臨むこと。 タブレット、PC等を使用するため講義前に十分な充電をしておくこと。					E,F評価 59点以下又は出席不良は、不合格																			

授業概要

科目名	自己表現講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	関根凌子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】 学校生活や社会生活の中でコミュニケーションを円滑にする多角的な自己表現力を養う。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する) 幼児から高齢者の造形活動を行い学校教育の経験のある教員が基礎的な造形の知識技術の修得が出来る授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
はさみや糊など道具 その他活動に必要な道具・PCかタブレット端末					製作物の準備				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 ・授業の目的について理解する ・それぞれの表現がいかにされた作品の制作と発表を理解する。 ・基本の折り紙の折り方と記号を理解する 【到達目標】 ・制作に必要な準備ができる ・折り紙の歴史が知ることが出来る ・折り紙の基本的な折り方を理解し折る事が出来る。 ・授業内容を理解し半期の計画を立てる事が出来る。。				9	【授業単元】 カレンダー制作 10月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 かぼちゃ応用 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
2	【授業単元】 ・カレンダー制作 4月 季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 チューリップ ・宇宙飛行に役立つ折り紙 【到達目標】 ・宇宙で役立つ折り紙について知る事が出来る ・季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折ることが出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感や考察が出来る				10	【授業単元】 カレンダー制作 11月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 紅葉 栗 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
3	【授業単元】 ・カレンダー制作 5月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 兜 ・江戸時代の折り紙 【到達目標】 ・江戸時代の折り紙について知る事が出来る ・季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方が理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る				11	nakamoto カレンダー制作 12月 ・季節を考えた制作をする ・折り紙サンタ 切りえ 雪の結晶 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
4	【授業単元】 カレンダー制作 6月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 あじさい かたつむり かえる 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				12	【授業単元】 カレンダー制作 1月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 羽子板 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
5	【授業単元】 カレンダー制作 7月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙朝顔 セタ 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				13	【授業単元】 カレンダー制作 2月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 おに 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
6	【授業単元】 カレンダー制作 8月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 提灯 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				14	【授業単元】 カレンダー制作 3月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 おひなさま 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。			
7	【授業単元】 カレンダー制作 9月 ・季節を考えた制作をする ・伝承折り紙 うさぎ 【到達目標】 季節を考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方を理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表する事が出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				15	【授業単元】 定期試験 自分が制作したカレンダーを発表する 制作のまとめをする 【到達目標】 自分が考えた制作を説明し、発見した事や工夫した事を仲間と共感し共有する事が出来る。 より深い表現が出来る点を具体的に活かせるように制作のまとめをする。			
8	【授業単元】 中テスト カレンダーの制作 表紙 ・自分らしき考えた表現で制作を行う 【到達目標】 自分らしさを考えた制作をする事が出来る ・折り紙の折り方が理解し折る事が出来る ・工夫した点を発表出来る ・工夫した点に共感したり考察が出来る。				自己表現講座のルーブリックを用いて評価する。 【小テストについて】 毎回の小テストは5点満点とする。ただし、8回目の中テストは15点満点とする。 1-14回目の小テストと中テストの合計点の1/2(小数点繰り上げ)合計40点を小テストの点数とする。 【定期試験について】 15回目は定期試験とし60点の点数とする。 【評価について】 小テスト・定期試験の合計点からA-Fの6段階で評価する				
【履修に当たっての心構え・留意点】 提出物は期限を守る事。									

授 業 概 要

科目名	自己表現講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	関根凌子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	4 単位	総時間数	60 時間
【授業を通じての到達目標】									
学校生活や社会生活の中でコミュニケーション力を円滑にする多角的な自己表現力を養う。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
幼児から高齢者の造形活動を行い学校教育の経験のある教員が基礎的な造形力の知識技術を修得出来る授業を行う									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
はさみや糊など道具 その他活動に必要な道具・PCかタブレット端末					製作物の準備				
コマ	ことができる				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 ・授業の目的、個を活かす大切さについて理解する ・伝承折り紙 機能的な折り方を理解する 財布 ・それぞれの表現がいかにされた作品の制作と発表する意義を理解する。 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした財布を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。				9	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 風船 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした風船を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
2	【授業単元】 ・伝承折り紙 機能的な折り方を理解する 箱 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした箱を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。					【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的な方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ①平行折り 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
3	【授業単元】 ・伝承折り紙 機能的な折り方を理解する コップ ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かしたコップを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。				11	nakamoto ・気持ちを伝え表す造形的な方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ②斜め折り 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
4	【授業単元】 ・伝承折り紙 機能的な折り方を理解する ポチ袋 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かしたポチ袋を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。				12	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的な方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ③不均等な斜め折り 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
5	【授業単元】 ・伝承折り紙 機能的な折り方を理解する 帽子 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした帽子を提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。				13	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的な方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ④飛び出すコイル 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
6	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 だまし船 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・伝承折り紙を制作し提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。				14	【授業単元】 ・気持ちを伝え表す造形的な方法 ・飛び出すカードの制作 基本的な折り方 ⑤立方体 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みを知ることができる ・個を活かした飛び出すカードを提出できる。 ・他作品を鑑賞できる。			
7	【授業単元】 ・伝承遊び 折り紙 手裏剣 ・作品鑑賞 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みと遊び方を理解する事ができる ・個を活かした手裏剣を提出できる。				15	【授業単元】 定期試験・感謝カードの制作 1年の感謝カードを贈る 制作してきた技法から1つ選択する ・作品鑑賞・制作の感想をまとめる 【到達目標】 自らが考えた制作を説明し、発見した事や工夫した事を仲間と共感し共有する事が出来る。 制作についてより深い表現が出来るように具体的にまとめる。			
8	【授業単元】 中テスト ・伝承遊び 折り紙 駒 ・作品鑑賞・感想を書く 【到達目標】 ・授業を理解し制作に必要な準備ができる ・基本的な仕組みと遊び方を理解する事ができる ・個を活かした駒を提出できる。 ・作品の良い所や自分に活かせる点に気づく事が出来る				自己表現講座のルーブリックを用いて評価する。 【小テストについて】 毎回の小テストは5点満点とする。ただし、8回目の中テストは15点満点とする。 1-14回目の小テストと中テストの合計点の1/2(小数点繰り上げ)合計40点を小テストの点数とする。 【定期試験について】 15回目を定期試験とし60点分の点数とする。 【評価について】 小テスト・定期試験の合計点からA-Fの6段階で評価する				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
提出物は期限を守る事。									

授 業 概 要

科目名	ソーシャルスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	岩垣 怜奈		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義・演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
<p>社会で他の人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練を行う。 相手の気持ちや状況に配慮した言動を身につけ、円滑なコミュニケーションを構築することが出来る。 「出来る」を増やし、自信回復を目指す。 話し合いながら問題解決方法を見出し、より生活しやすくする。</p>									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
<p>大学院では看護師のバーンアウトに関する研究を行い、現在では精神科デイケアにて公認心理師として働いている。主に統合失調症患者に対し、社会生活を円滑に営むことをめざしソーシャルスキルトレーニング(SST)のプログラムを実施している。精神科医療の現場にて実際にSSTを行っている教員が、コミュニケーションなど他者と関わるスキルや協調する必要性、自己表現を豊かにすることを目的とし授業を行う。</p>									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
適宜、紹介資料を配布する。					授業で習得した事を日常生活の中で様々な場面で応用実践し、自分で創造的で効果のある自己表現ができるようなフィードバックを随時試みる。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 オリエンテーション				9	【授業単元】 実際に職業体験をして感じたことを共有する1			
	【到達目標】 担当教員を知る アイスブレイク					【到達目標】 疑問に思ったことを共有する			
2	【授業単元】 挨拶の大切さを知る				10	【授業単元】 実際に職業体験をして感じたことを共有する2			
	【到達目標】 生活場面に応じた挨拶が出来る					【到達目標】 共感し合うことで、不安の軽減に繋げる			
3	【授業単元】 上手に挨拶をするスキルを学ぶ				11	【授業単元】 生活する中で困っていることは？1			
	【到達目標】 非言語的コミュニケーションを使い挨拶が出来る					【到達目標】 相談にのってもらう体験をする			
4	【授業単元】 相手の気持ちを理解するには？				12	【授業単元】 生活する中で困っていることは？2			
	【到達目標】 質問し相手の気持ちを知ることができる					【到達目標】 困りごとを共有し、解決策を共に考える			
5	【授業単元】 就職に必要なスキルを身につける1				13	【授業単元】 相手に合わせたコミュニケーション方法を学ぶ1			
	【到達目標】 良い第一印象を与えるにはどうすべきかを考える					【到達目標】 同世代とのコミュニケーション方法を知る			
6	【授業単元】 就職に必要なスキルを身につける2				14	【授業単元】 相手に合わせたコミュニケーション方法を学ぶ2			
	【到達目標】 面接の練習を行う					【到達目標】 年代が違う人とのコミュニケーション方法を知る			
7	【授業単元】 働くうえで必要なスキルを身につける1				15	【授業単元】 定期試験：1コマから14コマの復習・確認			
	【到達目標】 助けを求めることの重要性を考える					【到達目標】 前期で学んだ事で印象に残っていることを原稿用紙(200字)に記述する			
8	【授業単元】 働くうえで必要なスキルを身につける2				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60点、毎回の授業の小テストと中テストの合計を40点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。毎回の小テストは各回5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小点数以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 分からないことを上手に質問する練習を行う								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
<ul style="list-style-type: none"> ・場面に合った声量でハッキリと話すことを心がける。 ・実際の生活の中で学んだスキルを積極的に活用する。 									

授 業 概 要

科目名	ソーシャルスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	岩垣 怜奈		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義・演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】 社会で他の人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練を行う。 相手の気持ちや状況に配慮した言動を身につけ、円滑なコミュニケーションを構築することが出来る。 「出来る」を増やし、自信回復を目指す。 話し合いながら問題解決方法を見出し、より生活しやすくする。									
) 大学院では看護師のバーンアウトに関する研究を行い、現在では精神科デイケアにて公認心理師として働いている。主に統合失調症患者に対し、社会生活を円滑に営むことをめざしソーシャルスキルトレーニング(SST)のプログラムを実施している。精神科医療の現場にて実際にSSTを行っている教員が、コミュニケーションなど他者と関わるスキルや協調する必要性、自己表現を豊かにすることを目的とし授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】 適宜、紹介資料を配布する。					【授業時間外における学習】 授業で習得した事を日常生活の中で様々な場面で応用実践し、自分で創造的で効果のある自己表現ができるようなフィードバックを随時試みる。				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 実際に協力して作業を行う1				9	【授業単元】 上手な断り方を考える			
	【到達目標】 人と協力する大切さを知ることができる					【到達目標】 具体的な場面を想定し断り方を考える			
2	【授業単元】 他者と会話をする練習をしてみよう1				10	【授業単元】 依頼する練習を行う			
	【到達目標】 初めて会う人や特に親しくない人と会話を始める					【到達目標】 上手な依頼方法を考える			
3	【授業単元】 他者と会話をする練習をしてみよう2				11	【授業単元】 褒める・褒められる1			
	【到達目標】 会話に加わる練習をする					【到達目標】 他者の良いところに目を向け、相手に伝える			
4	【授業単元】 他者と会話をする練習をしてみよう3				12	【授業単元】 褒める・褒められる2			
	【到達目標】 相手の話に耳を傾けて興味を持っていることを伝える					【到達目標】 人から褒められる体験をする 自分の新たな長所に気がつく			
5	【授業単元】 質問の仕方のスキルを向上させよう1				13	【授業単元】 自分の成長に気がつき表現することが出来る1			
	【到達目標】 質問して会話を続ける					【到達目標】 自分を見つめる体験をする 成長に気がつくことで、自己肯定感を上げる			
6	【授業単元】 質問の仕方のスキルを向上させよう2				14	【授業単元】 自分の成長に気づき表現することが出来る2			
	【到達目標】 話題になりそうなことを話して会話を続ける					【到達目標】 成長したことを発表する 他者からの肯定的な評価を受け、自信を得る			
7	【授業単元】 言いたいことを相手に伝えてみよう				15	【授業単元】 定期試験: 1コマから14コマの復習・確認をする			
	【到達目標】 自分の言いたい要点まとめ、相手に伝える					【到達目標】 後期で学んだ事で印象に残っていることを原稿用紙(200字)に記述する			
8	【授業単元】 相手の言っていることが分からない時どうするか				【成績評価の方法と基準】 科目の評価は、定期試験60点、毎回の授業の小テストと中テストの合計を40点とし、両者の合計点でA～Fの6段階で評価する。 毎回の小テストは各回5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。				
	【到達目標】 分からないことを素直に伝える練習を行う								
【履修に当たっての心構え・留意点】 ・場面に合った声量でハッキリと話すことを心がける。 ・実際の生活の中で学んだスキルを積極的に活用する。									

授業概要

科目名	エクササイズ	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	金松 和		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
働き続けるために必要な体力とその維持方法を様々な運動を通じて身に着ける									
【学習内容】(実務経験のある教員については、どのような実務経験のある教員がどのような授業を実施するのかも記載する)									
民間スポーツクラブにて10年ほど勤務し、その後、大学・高校などの部活動でトレーナー活動を行っています。健康とは体にどのような良いことがあるかを知ってもらえる授業を行ってまいります。									
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】					
配布資料				授業時間外では、普段の歩き方、立ち方に注意しましょう。猫背。反り腰は腰痛や肩凝りを起こします。					
コマ	授業計画			コマ	授業計画				
1	【授業単元】 座学:運動とは・元気とは 実技:ストレッチ			9	【授業単元】 座学:メタボリックシンドローム 実技:アジリティトレーニング(コーン)				
	【到達目標】 座学:運動の良い点を文章にすることが出来る。元気について文章にすることが出来る。 実技:ストレッチの注意点を理解でき、ストレッチの動作を3パターン正しい姿勢で実践できる。				【到達目標】 座学:メタボリックシンドロームについて原因、判断基準、改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:コーンを使った運動の注意点を理解し、2種類正しく実践できる。				
2	【授業単元】 座学:個人スポーツ・団体スポーツの特徴 実技:ウォーキング			10	【授業単元】 座学:高血圧 実技:アジリティトレーニング(マーカー)				
	【到達目標】 座学:個人スポーツ・団体スポーツの特徴を説明することが出来る。 実技:正しい歩き方を理解し、実践することが出来る。				【到達目標】 座学:高血圧について原因、判断基準、改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:マーカーを使った運動の注意点を理解し、2種類正しく実践できる。				
3	【授業単元】 座学:正しい生活習慣 実技:屋外でウォーキング			11	【授業単元】 座学:糖尿病 実技:アジリティトレーニング(ラダー)				
	【到達目標】 座学:規則正しい生活リズムを理解し、文章にすることが出来る。 実技:1万歩、歩くことが出来る。				【到達目標】 座学:糖尿病について原因、判断基準、改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:ラダーを使った運動の注意点を理解し、2種類正しく実践できる。				
4	【授業単元】 座学:正しい食事の摂り方 実技:筋力トレーニング(上半身)			12	【授業単元】 座学:メタボリックシンドローム 実技:アジリティトレーニング(ラダー)				
	【到達目標】 座学:規則正しい食事の摂り方を理解し、文章にすることが出来る。 実技:筋力トレーニングの注意点を理解でき、筋力トレーニングの種類を3パターン正しい姿勢で実践できる。				【到達目標】 座学:メタボリックシンドロームについてグループで話し合い、原因、判断基準、改善方法を発表することが出来る。 実技:ラダーを使った運動の注意点を理解し、2種類正しく実践できる。				
5	【授業単元】 座学:肩凝り 実技:筋力トレーニング(下半身)			13	【授業単元】 座学:高血圧 実技:アジリティトレーニング(リアクション)				
	【到達目標】 座学:肩凝りについて原因と改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:筋力トレーニングの注意点を理解でき、筋力トレーニングの種類を3パターン正しい姿勢で実践できる。				【到達目標】 座学:高血圧についてグループで話し合い、原因、判断基準、改善方法を発表することが出来る。 実技:反応が速くなる運動を2種類、正しく実践できる。				
6	【授業単元】 座学:腰痛 実技:ジョギング			14	【授業単元】 座学:糖尿病 実技:パワートレーニング(ジャンプ)				
	【到達目標】 座学:腰痛について原因と改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:正しい走り方を理解し、実践することが出来る。				【到達目標】 座学:糖尿病についてグループで話し合い、原因、判断基準、改善方法を発表することが出来る。 実技:ジャンプ力を身に着ける運動を正しく実践できる。				
7	【授業単元】 座学:足が曇る(むら返り) 実技:屋外でジョギング			15	【授業単元】 座学:復習 実技:屋外でジョギング				
	【到達目標】 座学:足が曇る原因と改善方法を理解し、文章にすることが出来る。 実技:1km、走ることが出来る。				【到達目標】 座学:生活習慣病について原因・改善方法を説明することが出来る。 実技:1km、走ることが出来る。				
8	【授業単元】 中テスト 復習(肩凝り・腰痛・むら返り) 実技:屋外でジョギング			【成績評価の方法と基準】					
	【到達目標】 座学:日常生活で起こる体の不調について原因を理解して改善方法を実践できる。 実技:1km、休まずに走ることが出来る。			講義全体を100点満点とし、定期テストを60点、小テストと中テストの合計を40点の配点とし、両者の合計点でA~Fの6段階で評価する。 ・試験は実技試験で行う。 ・毎回の小テストは各回5点満点とし、中テスト(8回目の授業で実施)は15点満点とする。その合計(80点満点)の1/2の点数(小数点以下切り上げ)を小テストの合計点とする。					
【履修に当たっての心構え・留意点】									
・参加意識を持つ									

授業概要

科目名	音楽	必修 選択の別	必修	開講 区分 授業の 方法	後期 演習	担当 教員	小林香央里				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	単位数	1	単位	1	総時間数	30	時間	
【授業を通じての到達目標】											
音楽を通じて、人と繋がること、共に創ること、失敗を恐れずに挑戦すること、社会の一員として生活する上で大切なことを学ぶ。コミュニケーション、コラボレーションは楽しいと認識することができれば本授業の目標は到達である。歌を上手に歌うこと、音楽の知識を得ることは重要なポイントとはしない。											
【学習内容】（どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
ミュージカル業界、POPS業界、国内外問わず活躍するTHE SOULMATICに所属する教員がコミュニケーションワークを用いて音楽による歌唱指導を実施する。読む・書くが中心になるものではなく、観る・聴くが中心となる実践型の授業である。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
事前に配布する歌詞など。						授業にて得たことを活かし、少しコミュニケーションを人と図ってみる。					
コマ	授業計画					コマ	授業計画				
1	【授業単元】 怖がらず声を出してみる。体を動かしてみる。					9	【授業単元】 プレゼンストリーミングで、発表に向けて色々なアイデアをだしてみる。				
	【到達目標】 失敗を恐れず、声を出してみる。 思い切って声を出して良い安全な場所があることを認識する。						【到達目標】 様々な考え方やアイデアがあることを知り、可能性が広がることを体感する。				
2	【授業単元】 グループワークにて他者の力を借り、一緒に歌ってみる					10	【授業単元】 模範の発表を笑って見て、もっと良くなりそうところを探してみる				
	【到達目標】 人と取り組むと簡単になることを知る 相手の良い所を発見する						【到達目標】 良いものを創るためには、課題に向けたフィードバックが重要であることに気づく				
3	【授業単元】 一曲遊して、カメラに向かって歌ってみる					11	【授業単元】 発表に向けて、心配なことをシェアし、解決方法を見つけて出して失敗を恐れずチャレンジする				
	【到達目標】 何かに向かって発信する感覚を知る 感想を外化してみる（まず書く）						【到達目標】 不安は、原因を知ることから始まることを体感する。 全てにおいて同じだということを知る。				
4	【授業単元】 授業テーマに沿って考えをシェアしてみる。					12	【授業単元】 誰かに向かって歌う練習をする。				
	【到達目標】 相手の考えを知り、自分の考えを伝えることを達成する。						【到達目標】 恥ずかしいけど、誰かに歌うことのすばらしさを体感する				
5	【授業単元】 簡単な振りをしながら歌う					13	【授業単元】 本授業を通してできるようになったことを振り返り、シェアする。				
	【到達目標】 音楽の中で、更に誰かと一緒なら振りも楽しくなることを体感する						【到達目標】 当初の自分を振り返り、自分自身で成長に気づく				
6	【授業単元】 各チームでちがう振りとフレーズを合わせて歌ってみる					14	【授業単元】 発表に向けて最後の練習と、目標をシェア				
	【到達目標】 コラボレーションにより、楽しくなることを学ぶ チームで作り上げることの喜びを感じる						【到達目標】 目標、目的をもつことの大切さを知る				
7	【授業単元】 6回分の授業を振り返り、シェア。授業内でクラス発表にチャレンジ。					15	【授業単元】 授業内歌唱発表。				
	【到達目標】 人の前でパフォーマンスする感覚を得、話すこと、表現する体験をする。						【到達目標】 達成する喜びを感じる。 振り返り、学びをシェアする。				
8	【授業単元】 授業の終わりに向けて理想の自分を考えてシェアする					【成績評価の方法と基準】 授業内でのシェア、授業に対する積極性、出席率、これらを加味して評価します。					
	【到達目標】 後半に向けてのチャレンジングな課題を見つける シェアする					シェアの内容や、人を手伝う姿勢なども、オプションの評価として考えています。					
【履修に当たっての心構え・留意点】											
音楽のレベルを上げるための音楽の授業ではなく、この授業を通してより人生を楽しく生きる為のヒントを見つけることが目的です。											

授 業 概 要

科目名	ライフスキルトレーニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	本間 里枝 眞栄田果奈
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	2 単位 総時間数 60 時間
【授業を通じての到達目標】							
【調理】調理をする事を楽しみながら、食事の大切さを知る。又、調理実習で友だちと協力し様々な物を作り上げていく。							
【家政】生活に必要な家事の技術を楽しみながら会話と演習を通して授業を展開していく。							
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)							
【調理】一般企業で勤務後、保育士として認可保育園に13年勤務。現在は園長として勤務。友だちと一緒に調理をする事を楽しめる時間にする。							
【家政】幼稚園教諭・保育士として社会福祉施設にて17年勤務。現在は文京区内の認可保育園にて園長として勤務。実践学習を通して普段の生活にも楽しく取り入れていきたいと思います。家事の不思議・便利さをもみんで見つけていきたいと思います。							
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習】			
【調理】覚えておきたい新料理の基本123				自分ができるようになった食事を家族や友だちに作ってあげる。			
【家政】新しい家庭5・6(東京書籍)を参考				授業でなかったことを、自宅でもチャレンジしてみよう。家の方の手伝いを一つやってみよう。			
コマ	授業計画			コマ	授業計画		
1.2	【授業単元】 オリエンテーション	【到達目標】 科目の概要を知る。 次回からスムーズに授業を始められるように、準備するものや校舎の場所を知る。		17 18	【授業単元】 【家政】被服の補修(針と糸の使い方) ※小物入れを作ってみる、小テスト(10点)	【到達目標】 手縫い(ボタンフサ、並み縫い、ゴム通し)を行う。	
3.4	【授業単元】 【調理】調理について (調理の流れを知る・用具の使い方、衛生面について)、小テスト(10点)	【到達目標】 ・衛生について知る(手洗い、エプロン、三角巾、アレルギー) ・用具を知り、使ってみる 調理…おにぎり(P. 138)・みそ汁(切干し、人参)(P. 142)		19 20	【授業単元】 【調理】夏(暑く食欲がない時)の時の食べ物 小テスト(5点)	【到達目標】 ・夏バテにならない様に食べて元気を出す。スタミナをつける。 調理…チキンカレー(P. 30)、三色ナムル(P. 120)、果物	
5.6	【授業単元】 【家政】家政の意味(家事とは)、日常生活の中の家事の種類を知る。 次回の洗濯について(繊維の種類と特徴、布地)、小テスト(10点)	【到達目標】 日常生活がすべての活動の土台であることを確認する。 生活を営む力を身に付ける必要があることを知る。		21 22	【授業単元】 【家政】掃除方法について、ふりかえり 定期試験	【到達目標】 清掃に関心を持ち、場所や汚れに応じた掃除の仕方を考えたり、 清掃用具、洗剤の種類を知る。	
7.8	【授業単元】 【調理】切る・焼く・ゆでる、おいしそうに盛り付ける 小テスト(5点)	【到達目標】 様々な調理方法にふれてみる 調理…オムライス(P. 28)・ゆで野菜サラダ・オニオンスープ		23 24	【授業単元】 【調理】パンを作ってみよう 小テスト(5点)	【到達目標】 ・パン作りを楽しむ。 調理…パン、ミネストローネ(P. 42)	
9 10	【授業単元】 【家政】①洗濯について ・なぜ洗濯するのかを考える ・洗濯について知っていることを出し合う、小テスト(10点)	【到達目標】 洗濯の必要性が分かり、洗濯機の使い方・手洗いの留意点を知る。		25 26	【授業単元】 給料の使い方、お金の付き合い方を学ぶことで自分の働き方を考える 暮らしを支える税金や保険を学び、自分の人生設計をする	【到達目標】 自立・自律した生活ができるようになるため、お金の管理や人生設計の知識を体験を通して学ぶ	
11 12	【授業単元】 【調理】献立の立て方を理解する。 小テスト(10点)	【到達目標】 ・五大栄養素を理解し、献立を作ることを楽しむ 調理…ごはん、みそ汁、生姜焼き(P. 48)、キャベツ千切り、白和え(P. 80)		27 28	【授業単元】 調理授業の振り返り。定期テスト	【到達目標】 ・作る事、食べる事は楽しいと知る。 ・友だちを協力する楽しさを知る。	
13 14	【授業単元】 【家政】②洗濯について ・洗濯機で使い方(実践してみる) ・手洗いをし、アイロンがけをする、小テスト(10点)	【到達目標】 繊維に合わせた洗濯ができる。 アイロンがけができる。被服の収納方法を知る。		29 30	【授業単元】 健康診断の結果から健康とな何か考える 口腔清掃としてブラッシングの方法を理解し体験する	【到達目標】 健康を意識した行動ができるようになる 健康と歯のつながりを理解することで口腔内清掃を考える	
15 16	【授業単元】 【調理】麺をゆでる 小テスト(5点)	【到達目標】 ・麺をゆでる時間で触感が変わる 調理…ミートソーススパゲティ(P. 34)、海藻サラダ、コンソメスープ		【成績評価の方法と基準】			
					科目の評価は、定期試験60%、毎回授業の小テスト等40%の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 調理と家政でそれぞれ100点満点とする。 調理において、小テストの合計40点、定期試験60点の100点満点とする(①) 家政において、小テストの合計40点、定期試験60点の100点満点とする(②) ①と②を足して÷2した点数で評価する。 その数が整数でない場合は、小数点以下は切上げとする。		
心構え・留意点							
・調理器具の使い方に気を付ける。							
・出来るよりも楽しむ事							

授 業 概 要

科目名	健康管理能力検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	栗原冬子		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	講義	単位数	2 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
①生活リズムや体内時計の働きとしくみを理解することで、健康管理・予防医学の知識を習得しアドバイスや説明ができる。 ②健康管理能力検定3級に合格する。									
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)									
健康管理能力検定1級・健康管理士一般指導員資格保持。省庁・自治体・企業などで健康管理に関する講演活動を行っている教員が、栄養・運動・睡眠など基礎的な健康管理と、将来社会人として必要な健康管理に役立てる実践的な知識を学習する授業を行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
健康管理能力検定3級テキスト					WEB講座視聴(単元ごとの復習として自宅で行う。)				
コマ	授業計画				コマ	授業計画			
1	【授業単元】 私たちの体のリズム(3級テキスト1章12P～26P) 小テスト 【到達目標】 体内時計の仕組みと働きを学び、その概要を説明できる。				9	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト136p～144p) 小テスト□ 【到達目標】 乳幼児の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。			
2	【授業単元】 体のリズムとホメオスタシス(3級テキスト2章28P～42P) 小テスト 【到達目標】 人間の健康を維持しているホメオスタシスの3つの機能(自律神経・内分泌・免疫)の働きについて学び、その概要を説明できる。				10	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト145p～153p) 小テスト□ 【到達目標】 学童期・青年期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。			
3	【授業単元】 活動的に過ごすための1日のリズム(3級テキスト3章44P～71P) 小テスト 【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から朝をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。				11	【授業単元】 ライフステージと体のリズム(3級テキスト154p～168p) 小テスト□ 【到達目標】 成人期・高齢期の体のリズムや、それに伴う健康管理について学び、その概要を説明できる。□			
4	【授業単元】 活動的に過ごすための1日のリズム(3級テキスト3章72P～90P) 小テスト 【到達目標】 体内時計の仕組みをもとに、食事・運動・睡眠の観点から昼・夜をどのように過ごすか健康になるのかを学び、その概要を説明できる。				12	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅰ(講座専用資料配布) 小テスト 【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座を行い、検定試験合格を目指す。			
5	【授業単元】 体のリズムと四季折々の暮らし方(3級テキスト4章92P～101P) 小テスト 【到達目標】 体のリズムと東洋医学との関係を学び、その概要を説明できる。				13	【授業単元】 健康管理能力検定3級合格対策講座Ⅱ(講座専用資料配布) 小テスト 【到達目標】 健康管理能力検定3級合格に向けた対策講座で検定試験合格を目指す			
6	【授業単元】 体のリズムと四季折々の暮らし方(3級テキスト4章102P～119P) 小テスト 【到達目標】 春・夏の季節に合わせた健やかな暮らしについて、具体的な方法を学び、その概要を説明できる。				14	【授業単元】 前期授業の総復習および試験解答解説 定期試験(択一式試験 時間40分) 【到達目標】 検定合格に向けて全てをクリアにする			
7	【授業単元】 体のリズムと四季折々の暮らし方(3級テキスト4章120P～134P) 小テスト 【到達目標】 秋・冬の季節に合わせた健やかな暮らしについて、具体的な方法を学び、その概要を説明できる。				15	【授業単元】 合格対策最終確認 小テスト 健康管理能力検定3級試験(択一式試験 時間40分) 【到達目標】 健康管理能力検定3級の内容を理解し、検定に合格する。			
8	【授業単元】 中テスト(択一式試験 時間30分) これまでの授業の振り返りおよび試験解答解説 【到達目標】 これまでの授業の振り返りをし、不明な箇所をクリアにする。				【成績評価の方法と基準】 科目の評価 【定期試験】(60点) 【小テスト】(各5点×全13回) 【中テスト】15点×1回 定期試験 60%、小テスト・中テスト40% の配分で総合し、AからFの6段階で評価を行う。 小テスト・中テスト・定期試験は択一式のweb試験で行い、健康管理能力検定試験は登校し、択一式のマークシート試験で行う。小テストと中テストの合計を足して÷2したものと定期試験の合計点からA-Fの6段階で評価する				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
予習は必要ないが、WEB講座を利用するなど自宅での復習は必須。健康管理を学ぶとともに、検定試験合格を目指しての学習を意識してもらいたい。									

授業概要

科目名	ビジネスマナー検定講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	後期	担当 教員	徳岡健男		
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	1 単位	総時間数	30 時間
【授業を通じての到達目標】									
ビジネス(実務)社会に身を置いて働くときの身の処し方(マナー)を学ぶ講座です。ビジネス社会には、その社会を律するための秩序があります。この秩序を知ることがビジネス社会を知ることです。社会人として働くうえで、最も基本となる行動規範と考え方を学ぶのがこの授業の目標です。今、世間では一般に規範を守る意識が薄くなっていると言われています。その元になるのが礼儀であり、道徳心を呼ばれるものです。単にルールだけを学ぶのではなく、なぜそうなのかを考えながら理解していきましょう。									
【学習内容】									
流通業界での実務経験と社会人教育・専門学校教育での教員経験をもつ教員が、ビジネス全般にわたるルールを指導します。授業実施後には、仕事をする際の心構えや具体的な場面ごとのあいさつの仕方等、実践に即したマナーが備わる講座である。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習】				
書名:「ビジネス実務マナー検定3級受験ガイド」及び「実問題集」					予習の必要はありませんが、授業後の復習に取り組んでください。				
回	授業計画				回	授業計画			
1	【授業単元】 I 必要とされる資質(仕事の能力)				9	【授業単元】 IV 電話実務(電話対応の注意点を知る。)			
	【到達目標】 社会人としての資質を考える。(行動力・判断力・表現力) 基礎能力と専門能力の意味を知る。					【到達目標】 電話でのマナーと対応の基本を学ぶ。 明るい印象になるように、聞き取りやすい発声ができる。			
2	【授業単元】 I 必要とされる資質(仕事の能力)				10	【授業単元】 IV 電話実務(場面ごとの電話対応の流れを知る)			
	【到達目標】 執務要件を考える。(協調性と積極的な態度の意味を知る) どのような心構えで仕事に臨むことが大切かを知る。					【到達目標】 電話の取次ぎ方等の基本や、メモの取り方等を学ぶ。 (ロールプレイング・5W1Hを意識してメモがとれる。)			
3	【授業単元】 II 企業実務				11	【授業単元】 V 技能(情報と文章についての扱い方)			
	【到達目標】 組織とは何かを考える。協働する必要性を知る。 (一人で出来ないことも多人数だとできることがある)					【到達目標】 情報の整理と伝達についての基本知識を学ぶ。 的確かつ正確な文章が仕事のベースとなることを知る。			
4	【授業単元】 III 対人関係①(人間関係)				12	【授業単元】 V 技能(会議・事務機器・事務用品)			
	【到達目標】 人間関係の要となる要素を知る。 価値観の意味と立場の違いを知る。					【到達目標】 会議に出席するマナー、事務機器・事務用品の基本機能を知る。 機器・備品の取り扱いの注意点を知る。			
5	【授業単元】 III 対人関係②(人間関係と仕事)				13	【授業単元】 問題演習(9回目授業から12回目授業までの復習とまとめを確認する。)			
	【到達目標】 良好な人間関係を作ることの大切さを知る。 他者への配慮を学び、ルールを守ることの大切さを考える。					【到達目標】 検定図書の問題の中から「実技 IV電話実務」「実技 V技能」の過去問題を解いてみる。(11問)			
6	【授業単元】 III 対人関係③(コミュニケーション)				14	【授業単元】 授業総まとめの問題演習(テキスト全範囲)			
	【到達目標】 丁寧な言葉でわかりやすい話し方を学ぶ。 よく使われる敬語を知る(尊敬語・謙譲語)					【到達目標】 同じ問題を2回解いて、2回目の正答率を80%を目標とする。			
7	【授業単元】 問題演習(1回目授業から6回目授業までの復習とまとめを確認する。)				15	【授業単元】 「定期試験」の実施。			
	【到達目標】 検定図書の問題の中から、「理論 I 必要とされる資質」「理論 II 企業実務」「実技 III 対人関係」の過去問題を解いてみる。(19問)					【到達目標】 定期試験は8回目中間試験の問題と14回目授業の問題演習の範囲から出題します。正答率は70%を目標とする。(検定試験では60%で合格となる)			
8	【授業単元】 前回授業の問題演習から定期試験を実施する。				【成績評価の方法と基準】 評価は、授業で行う小テスト(10回×4点=40点)と定期試験(30点×2=60点)。合計100点満点で評価する。なお、小テストは授業の1, 2, 3, 4, 5, 6, 9, 10, 11, 12回目の授業内で実施する。定期試験は8回目と15回目に実施し、評価は学則の規定に準ずる。				
	【到達目標】 検定図書の過去問題・19問を出題。具体的な正答目標として80%を設定する。								
【履修に当たっての心構え・留意点】									
積極的に質問をすること。1回の授業で最低1つ質問してみよう。また、授業内で利用する問題は実務マナー検定の過去問題を使用します。授業にはテキストを持参してください。									

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(前期)	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	6	単位	総時間数	180	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習(外出)を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】 (どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業ではグループ学習を行い、将来働いた時に自ら発信する力や仲間と協力することが出来る力をつける。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、ロイロノート						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習	<ul style="list-style-type: none"> ●全体のオリエンテーション ・生活総合実習の目的目標の確認と自分自身の課題を決めるPDCAサイクルについて学ぶ。 ・グループで活動するために大切なことを考える 1人ではなく、チームで協力するために意識すること、自分がやるべきことを考える 視点を広げ、人と自分の価値観の違いを共有することの大切さを知ることができる目標を立てることができる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め、当日行動できるように準備をする ●課外学習(外出見学) 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行き、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習(まとめ・発表) 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。 										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS(合格)とU(不合格)で判断する。					

授 業 概 要

科目名	現場総合学習	必修 選択の別	必修	開講 区分	通年(後期)	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	演習	単位数	6	単位	総時間数	180	時間
【授業を通じての到達目標】											
課外活動についてPDCAサイクルの手法を用いて自分たちで企画・実施・振り返りを行う 校外学習(外出)を行う。見学先を自分たちで決め計画をし、実際に見学し、まとめて発表する。この一連の流れを通して、問題発見力や問題解決力を身につけるための準備を行う											
【学習内容】(どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する)											
精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業ではグループ学習を行い、将来働いた時に自ら発信する力や仲間と協力することが出来る力をつける。											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						フォーサイト手帳を使用し、自分のやるべきことの目標を立て、振り返りをし、実行することが出来る					
授業計画											
・現場総合学習	<ul style="list-style-type: none"> ●前期の振り返り 前期の振り返りをし、後期の目標を立てる ●事前学習 グループに分かれ、課外学習先について下調べを行う。グループごと役割や目的を決め当日行動できるように準備をする ●課外学習(外出見学) 自分達で調べたことや、目標を立てたこと、役割で決めたことを実行することができる そこで見つけた新しい発見や、気になっていることをメモに取ることができる クラスみんなで協力して行い、できたことできなかったことをメモにとることができる ●事後学習(まとめ・発表) 見学したことをまとめて発表することができる。事前学習で実際に決めたことができたかを振り返る。 クラスのメンバーの良かったことをまとめて発表することができる。 ●成果発表会 1年間通じて現場総合学習を経験し、自分のできたこと難しかったこと、今後の課題となることをまとめて発表する 1人ではなく、グループで活動する上で気づいたことや大切なことをまとめることができる 成果発表会の準備や司会進行など自分たちでプログラムから考え行う 										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
将来働くために必要な、人と協力する力や、自分自身で考える力を身につけることができるように、自分だけでなく人にも興味を持つように意識する。						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS(合格)とU(不合格)で判断する。 授業の最後にレポートを提出し評価を行う					

授 業 概 要

科目名	インターンシップ	必修 選択の別	必修	開講 区分	前期	担当 教員	久保田 千尋				
学科 コース	キャリアデザイン科	学年	1年	授業の 方法	実習	単位数	1	単位	総時間数	45	時間
【授業を通じての到達目標】											
<p>希望する就職分野の就労体験をして、将来像を明確にし、就職につなげることができる。</p> <p>認知特性、三者面談、個人面談を通じて就職分野を決め、現場実習を通じて働く体験を行う。また、課題を発見し卒業までの計画を立てる。</p>											
【学習内容】 （どのような実務経験・研究経験・教員経験のある教員が、どのような授業を実施するのかを具体的に記載する）											
<p>精神保健福祉士として、精神科のクリニックで、中高生や20代前半の方にデイケアでグループワークや、保護者に対して支援を行う。東京福祉専門学校では、精神保健福祉士の専門教科を担当していた。この授業では、将来働くことができるように、実際に職場に行き体験をし、自分にあった職種や職場を知るために行う</p>											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習】					
ワークシート、フォーサイト手帳						日々の挨拶や姿勢など、社会人になったら大切な基本的な習慣を身につけるように、日常の中で挨拶や言葉遣いを気をつけて生活してもらいたい					
授業計画											
インターンシップ準備	<p>就職に向けて、自分の認知特性について再確認し、得意なところをもう一度知る</p> <p>自分が就職してみたい分野や、認知特性に合わせた企業や施設を数カ所体験してみる</p> <p>準備として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ（働くについて）をするにあたっての心構えや礼儀、挨拶の仕方、言葉遣いなど ・働くための服装…活動するにあたってのふさわしい格好について考える ・体験する場所…自分が行く場所について調べる ・目標の設定…自分が現場実習で達成する目標を立てる ・計画書の作成…自分の立てた目標が達成するために自分が実習先で具体的に行動する方法を考える 										
インターンシップ先 にて現場で体験する	<p>体験場所（学生に合わせた実習先（福祉分野・製造分野・食分野・特例子会社などを予定） 状況を見て判断する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に現場実習を行う ・日々の日誌を作成する ・できたことできなかったことを日々の活動で振り返りをする 										
インターンシップ 終了後の振り返り	<p>インターンシップを終えての振り返りをまとめ、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に体験してみて感想をまとめる ・事前に立てた目標が達成できたところ、できなかったところを振り返る ・クラスメイトに発表をし、クラスで共有し、今後の活動の参考にしていく ・インターンシップ先にお礼状を作成する ・インターンシップを体験した上で、今後の就職先決定に向けて準備を進める 										
【履修に当たっての心構え・留意点】						【成績評価の方法と基準】					
卒業後働くということを体験し、自分の体力やメンタル面などどんな変化があるか体験をしてもらう。できたこととできないことを自覚し、今後の就職活動に活かしていく						6段階評価の対象外科目であるため、出席率とS（合格）とU（不合格）で判断する。					